

## 令和 6 (2024) 年度 経営再建計画

### 年度目標

|                  |             |
|------------------|-------------|
| ○収入の確保（賃料収入）     | 9 億 8 7 百万円 |
| ○地下街の活性化（入居率）    | 9 7 %       |
| ○支出の削減（一般管理費）    | 5 8 百万円     |
| ○収益の確保（税引前当期純利益） | 2 億 0 9 百万円 |

### 事業方針

今年度は、徐々に市況が回復すると想定するが、景気や個人消費の回復について大きくは期待し難く、また減退しているテナントの出店意欲も短期間で高まる可能性は低いと考えられる。このような環境下であるが、見直した中期計画の達成、さらには利益水準のコロナ前への回復を図るため、地下街収入の増加に努め、支出においても、安全で快適な地下街運営を前提に売上原価、一般管理費の縮減に努める。

### 重点施策

地下街運営事業者及び施設管理事業者との連携強化を前提として、下記の重点施策に取り組む。また、地下街の運営管理と密接に関連する道路管理者などとも十分協議し取り組む。

- 地下街収入の確保
  - ・メインターゲットとする顧客層を踏まえたMDの推進
  - ・空き区画の解消
- 地下街施設の適正な維持管理
  - ・中長期修繕計画に基づく電気・機械設備及び土木・建築施設の更新
- 効率的な業務遂行
  - ・限られた人員による運営に支障がない業務効率化
  - ・光熱水費などの経費削減

### 収支

地下街収入については、地下街運営事業者との連携のもとで、賃料の減額対応の打ち切りや正規契約での入店などを進め、前年度を超える目標とする。

収支計画としては、2024 年度の売上高は 13 億 19 百万円、地下街収入 12 億 67 百万円、うち賃料収入は 9 億 87 百万円とし、税引前当期純利益については 2 億 09 百万円を目標とする。

### 地下街事業

テナント売上は回復基調にあるもののコロナ禍以前の水準とは乖離があり、引き続き、テナント、地下街運営事業者及び当社の 3 者が連携してクリスタ長堀のブランドイメージ向上とテナント売上増加に向けて取り組んでいく。

（販売促進の基本方針）

施設ファンづくりを継続・活性化するとともに、広告強化や店舗との相互送客施策の実施によるイベントの進化、また、大阪・関西万博を見据えたインバウンド事業の推進を図る。